

クリニカルラダー

(例:北里大学病院)

レベルⅠ～Ⅳは、臨床看護実践能力の習得段階を示し、専門看護領域と看護管理領域へと進める。臨床実践能力の育成を土台に、個々の看護師が将来目標の設定ができる教育計画を考えている。レベルの設定は、ハトリシア・ベナーの理論を基本にしている。

〈継続教育の目標およびプログラム〉		
	到達目標	レベル別研修
レベルⅣ	1. ①専門看護師として役割モデルとなり、専門性を発揮できる ②創造的な看護実践を展開できる 2. 単位における課題を明確にし、目標を示しながら管理行動がとれる 3. 単位における教育的役割がとれる 4. 管理および専門管理分野における研究開発を行い、変革の推進者となる	全レベル *トピックス 1. 看護実践の側面 2. 管理的側面 3. 教育的側面 4. 研究的側面 「北里専門看護師育成コース」 ・院外研修、学会など派遣
		「実習指導者研修室」 「中堅ナース研修」 「プリセプター研修」 ・事例検討会 ・院外研修、学会など派遣
レベルⅢ	1. 専門領域における看護実践の役割モデルとなる(プライマリナース、担当看護師として役割モデルとなる) 2. 医療チーム内でのリーダーシップを発揮できる 3. 後輩および看護学生に対して指導的にかかわれる 4. 看護研究・研修を通して看護実践を深めることができる	「人間関係に関する研修」 「看護実践と看護理論に関する研修」 「看護過程と看護記録に関する研修」
レベルⅡ	1. 看護過程を踏まえた個別的ケアが実践できる 2. 看護師(チームリーダー、担当看護師)の役割と責任を果たすことができる 3. 院内研修の学びを看護実践の場に生かすことができる 4. 課題に研究的に取り組み、看護実践を振り返ることができる	「メンバーシップ研修」 「新人フォローアップ研修」 ・基本的看護技術 ・ME機器など 「採用時教育」 ・病院理念と看護部方針 ・職業人としての基本姿勢など
レベルⅠ	1. 日常生活援助のための基本的知識、技術、態度を身につけベッドサイドケアが、安全確実に実践できる 2. 看護師(チームメンバー、副担当看護師)の役割と責任を果たすことができる 3. 院内研修、看護実践を通して、看護の知識を深められる 4. 研究活動に参加する	

